

使用中のソフトに、被害につながる入口が… セキュリティの「健康診断」と対策を行うには？

特別講座



第3回

ウイルス対策ソフト、バージョンアップの意味

毎年、各社からウイルス対策ソフトウェアの新バージョンが発売される。「OSのWindows

だつてすぐには新しいバージョンを導入しないし、急がなくてもいいや」と思いがちだが、セキュリティ分野は、スピードが命。良いもの、便利なものはいち早く取り入れ、会社を守りたい。

「脆弱性」パッチを当てる「な」の言葉を耳にする機会が増えていくことだろう。ソフトウェアは

脆弱性への対策を
手間なく行うには？

「完璧」でないのが通常で、プログラム上の欠陥が見つかったら、悪意ある人がここをついて、パソコンに予期せぬ動作をさせたり、管理者権限を乗っ取るなどの問題を生じさせる可能性がある。玄関に鍵がかかっている壁に穴があれば泥棒に侵入の機会を与えてしまふのと似ており、追加工事対策が必要となるのだ。

ただ、情報をキャッチしてその都度対応するのは大変な作業。手が回らずパソコンを危険な状態のまま設置している会社も多いのではないだろうか。しかし、こうした手間を軽減する対策ソフト

があるのだ。
作業がしやすい設計
動作の快適さもアップ

ウイルス検知率の高さで定評のあるエフセキュアでは、今秋に統合型セキュリティ対策パッケージ「エフセキュアインターネットセキュリティ2010」を発売。新機能としてソフトの脆弱性対応作業をサポートする「エフセキュアヘルスチェック」を提供している。



これは、Web上のアプリケーションを通じて社内のパソコンのセキュリティ対策状況をチェックするもので、危険なパソコンには左下図のように「赤信号」が表示される。そして、パッチが当たっていないソフトがリストアップされ、更新ソフトが提供されているWebサイトへのリンクも張られている。したがってすぐに更新作業を行えるのだ。

下図のように大幅に動作が機敏になった。「ウイルスソフトを使う」とパソコンが遅くなる「心配は無用である」。

軽快に動き、使いやすい! 「エフセキュアインターネットセキュリティ2010」

○軽い!
ウイルスのチェック時間約60%減、メモリ使用量約46%減、起動時間約30%減と軽快に動く(エフセキュアインターネットセキュリティ2009との比較)

○ネット対応強化
・Webサイトの安全/危険表示
・Webを通じた診断サービス提供
・パッチのダウンロードサイトへの誘導
*新しいOS、Windows7にも対応

価格：ダウンロード版 4200円(税込) 1台あたり・ライセンス1年間～



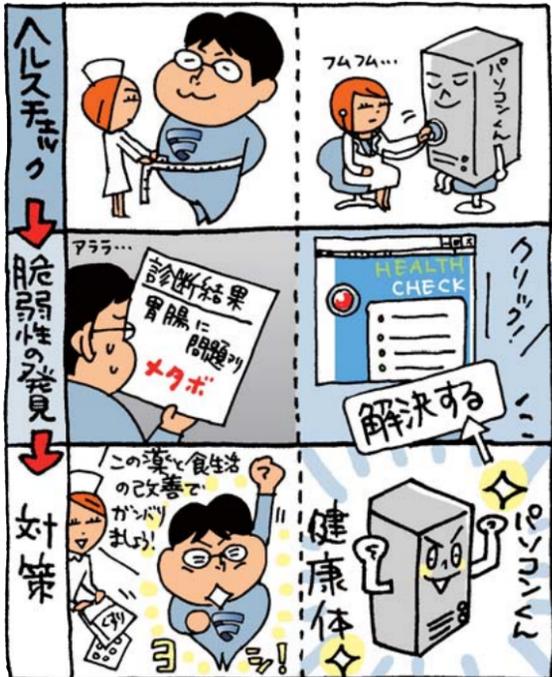
「パッチを当てる」のはそんなに大事なことになるのですか?

ソフトウェアに設計上の弱い部分(脆弱性)があると、そこをつかれて管理者権限を乗っ取られたり予期せぬ動作をするなどの被害を受ける可能性があります。危険なプログラムをダウンロードしてしまう被害も報告されています。

そこで、発売元から脆弱性の情報が公開されたら、追加プログラムをダウンロードして対応します。これを「パッチを当てる」といい、ソフトを使ううえで、必ず必要となる作業です。「パッチマネジメント」を管理業務の一つに組み入れましょう。

セキュリティは健康維持と同じ

診断と対策が大切!



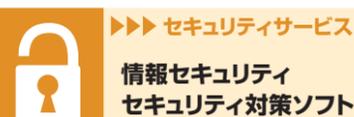
お問い合わせ先

エフセキュア株式会社

電話：045-440-6610

http://www.f-secure.co.jp/

神奈川県横浜市西区高島2-19-12 スカイビル23F



パッチが当たっていないソフトの有無がわかる「エフセキュアヘルスチェック」(左) 温かみがありわかりやすい画面(右)